

おしえて！エコチル先生、今回は、エコチル調査コアセンター長の川本俊弘（かわもと・としひろ）先生から、メッセージをいただきました。

「未来の子どもたちのためのエコチル調査」

エコチル調査とは、正式には「子どもの健康と環境に関する全国調査」と言い、化学物質をはじめとする環境要因が子どもの健康にどのような影響を与えているかを明らかにするための調査です。このエコチル調査は環境省が主導し、北海道から沖縄まで全国10万組のお母さん、赤ちゃん、さらにはお父さんにご参加いただき、子どもがお母さんの体の中にいるときから13歳のお誕生日まで追跡させていただくという壮大な国家プロジェクトです。



現在の私たちの身の回りの環境は、私たちが子どもであった時代とは大きく様変わりしています。大気汚染や水質汚濁は高濃度の局地限定的なものから低濃度ながら国境を越えた地球レベルのものに変わっています。一方、家の中をみると、壁、床、天井は合板やクロスが中心で、漆喰の壁を使っている家はめったにありません。たとえ床材や家具に天然木材が使われていてもその表面は人工のポリマーによってコーティングされています。また、スーパーでは肉、魚、野菜がプラスチック樹脂の容器で包装されており、これを毎日食べています。おもちゃも木や竹ではなく、ほとんどがプラスチック製です。

もちろん、これらの化学物質は安全性に関する厳しい検査を受けて世の中に出回っているのですが、低濃度で長期間曝露したときの影響や他の化学物質との複合影響など、わかっていないことが多いのです。

今までの研究から胎児期から幼少期にかけては、成人よりも化学物質の影響を受けやすいことがわかっています。そこでエコチル調査では妊娠・生殖、先天奇形、精神神経発達、免疫・アレルギー、代謝・内分泌系の5つの分野で環境要因の子ども健康に与える影響を調べます。これにより、いままでに知られていなかった影響が明らかになるかも知れません。しかしその一方で、化学物質に対する不必要な懸念を取り除くことも大事です。

また、エコチル調査は参加していただいたご家族の皆様に、ニュースレターやイベントなどを通して子育ての支援を行ってまいります。各ユニットセンターには産科医、小児科医、環境保健専門医、助産師、保健師、看護師、臨床心理士などの専門家がおり、その専門的知識や経験から子育てや環境に関する相談にも対応いたします。

さらに、エコチル調査を通して新しい診断法や検査法などが開発されることも期待されます。そして、最終的には子どもたちが健やかに成長できる環境、安心して子育てができる環境の実現を目指していきます。

エコチル調査は未来の子どもたちのための調査です。皆様のご協力・ご支援を心からお願い申し上げます。

(2013年9月1日)



■今月のエコチル先生

川本俊弘 先生

子どもの健康を環境に関する全国調査（エコチル調査）コアセンター長
独立行政法人国立環境研究所参与
産業医科大学医学部 産業衛生学講座 教授